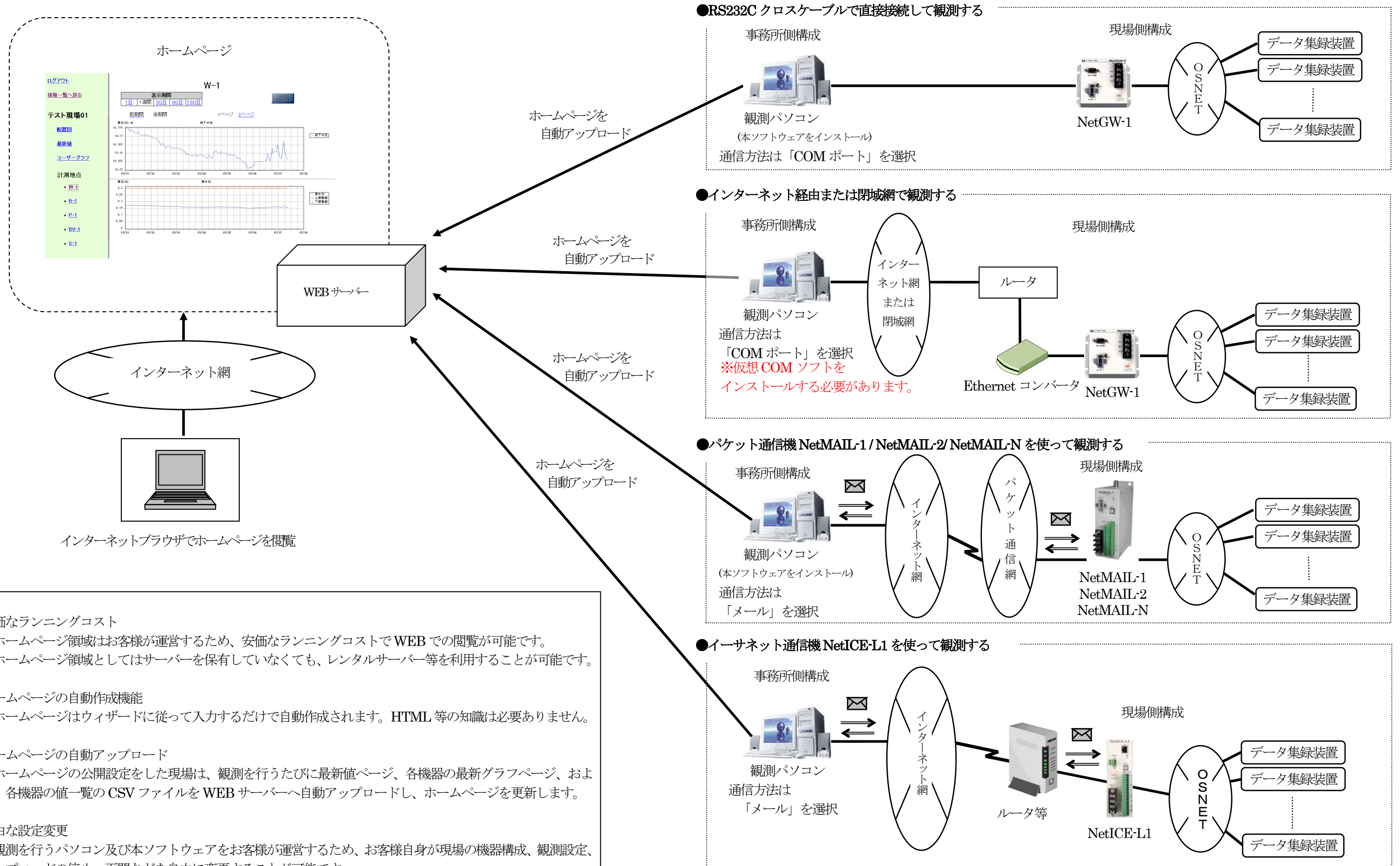


概要

本ソフトウェアは、OSNETネットワークのデータ集録装置の記録データを現場または遠隔地より自動観測して、その情報をホームページ化しWEBへ自動アップロードするソフトウェアです。ホームページは設定ウィザードに従って設定するだけで自動作成し、WEBサーバーへアップロードできます。さらに、自動観測のたびに各ページをWEBサーバーへ自動アップロードしてホームページを更新するため、どこからでもインターネットブラウザで最新の現場状態を閲覧可能です。

観測システム構成例

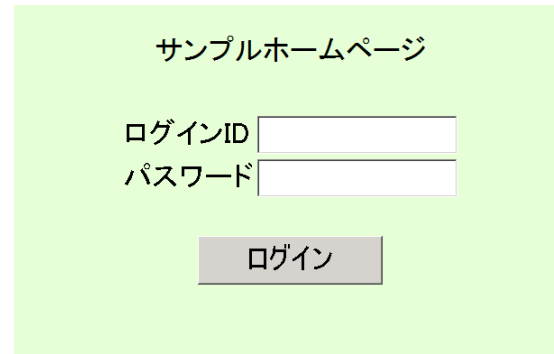


- 特徴**
- 安価なランニングコスト
ホームページ領域はお客様が運営するため、安価なランニングコストでWEBでの閲覧が可能です。ホームページ領域としてはサーバーを保有していなくても、レンタルサーバー等を利用することが可能です。
 - ホームページの自動作成機能
ホームページはウィザードに従って入力するだけで自動作成されます。HTML等の知識は必要ありません。
 - ホームページの自動アップロード
ホームページの公開設定をした現場は、観測を行うたびに最新値ページ、各機器の最新グラフページ、および、各機器の値一覧のCSVファイルをWEBサーバーへ自動アップロードし、ホームページを更新します。
 - 自由な設定変更
観測を行うパソコン及び本ソフトウェアをお客様が運営するため、お客様自身が現場の機器構成、観測設定、アップロードの停止・再開などを自由に変更することが可能です。

ホームページ画面構成

ホームページは設定ウィザードに従って設定するだけで自動作成されるため、HTML等の知識は必要ありません。認証ページ、問合せ先ページ、現場の配置図ページの設置・内容等もカスタマイズできます。

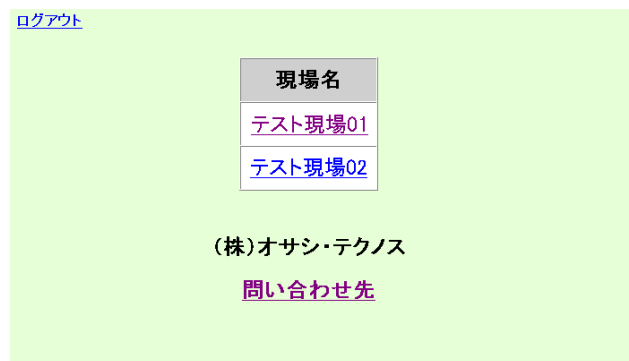
認証ページ



ログインIDとパスワードによる認証を設定し、閲覧者を制限できます。



現場の一覧ページ



現場の一覧ページです。現場名をクリックすると、その現場の最新値ページへ飛びます。また、問い合わせ先ページを設置した場合はそのリンクも表示されます。



現場名をクリック

最新値ページ

最新値

観測日時 2010年01月29日 11時46分

地点名	W-1	地下水位	132 GL-m	実水位	118 m	上限警報	20 m	下限警報	---
型番	NetLG-001								

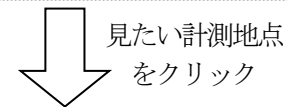
地点名	R-1	時間雨量	0.0 mm/h	警報値	0.3 mm/h
型番	NetLG-201	日雨量	0.0 mm/d	警報値	20 mm/d
		連続雨量	0.0 mm	警報値	30 mm
		実効雨量	0.1 mm	1次警報	40 mm
		経時雨量	0.0 mm	警報値	70 mm
				2次警報	降雨開始

地点名	P-1	地下水位	1814 GL-m	実水位	-314 m	上限警報	44 m	下限警報	---
型番	NetLG-301								

警報値	ch1	ch2	ch3
正常値変動量	1,000	7	7
逆程時変動量	500	-1	-1
	ch11	ch12	ch13
警報値	未設定	未設定	未設定
	ch21	ch22	ch23
警報値	未設定	未設定	未設定
	ch31	ch32	ch33
警報値	未設定	未設定	未設定

地点名	K-1	物理量	CH1	CH2	CH3
型番	NetLG-401	物理量	221.31 mm	242 mm	32E
		上限警報	400 mm	200 mm	3C
		下限警報	-100 mm	---	---
		経時変動量	0 mm	0 mm	---
		経時警報	102 mm	202 mm	3C

現場の最新値ページでは、全計測地点の最新値が表示されます。左のページで各リンクをクリックすると右のページが変わります。



見たい計測地点をクリック

各計測地点のグラフページ

各計測地点のグラフページ

W-1

表示期間: 1日 | 1週間 | 30日 | 90日 | 180日

前日 | 後日 | 1ページ | 2ページ

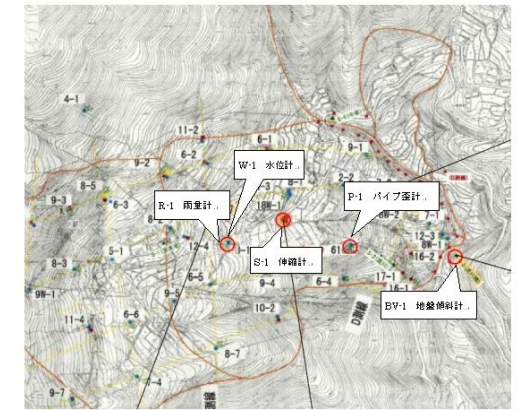
単位 [GL-m] 地下水位

単位 [m] 実水位

グラフページでは表示期間、グラフページの切り替え、値一覧 CSV ファイルのダウンロード等の操作が行えます。

配置図ページ

配置図



ログアウト

現場一覧へ戻る

テスト現場01

配置図

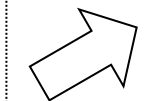
最新値

ユーザーグラフ

計測地点

- W-1
- R-1
- P-1
- BV-1
- S-1

「配置図」をクリック



現場の配置図ページです。ホームページ設定で配置図画像を設定した場合のみ表示されます。

ユーザーグラフページ

ユーザーグラフ

ユーザーグラフ

表示期間: 1日 | 1週間 | 30日 | 90日 | 180日

前日 | 後日 | 1ページ | 2ページ | 3ページ | 4ページ

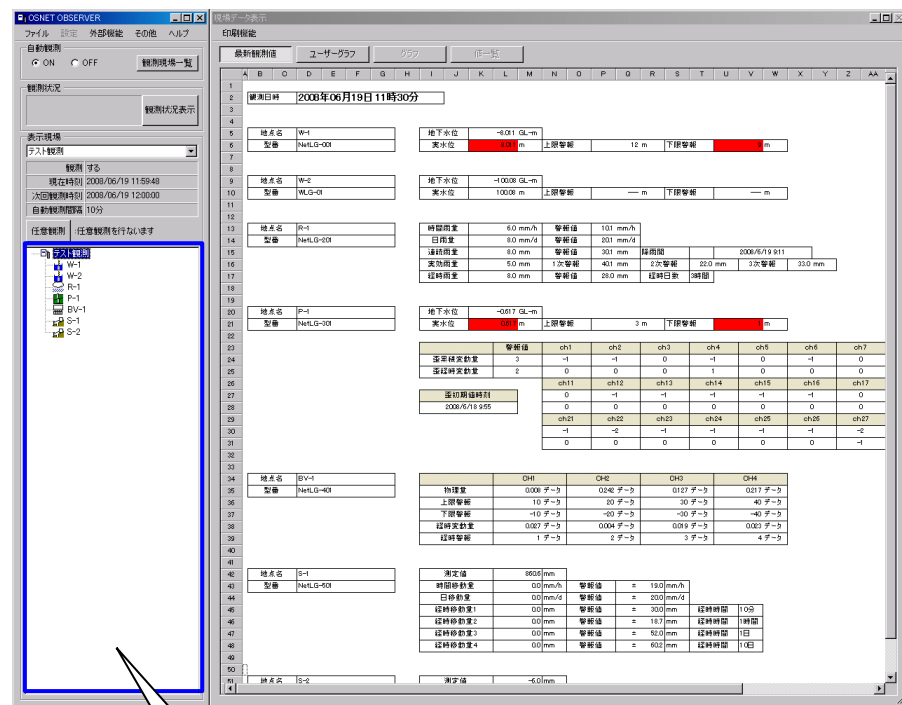
単位 [GL-m] W-1 地下水位

単位 [mm] R-1 時間雨量

単位 [mm] R-1 日雨量

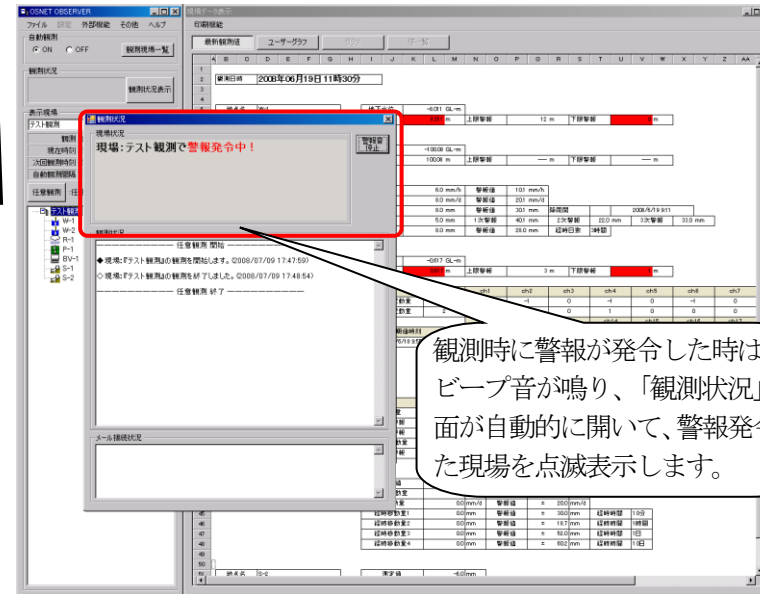
ユーザーグラフページでは複数地点のグラフが同時表示可能で、水位・雨量・伸縮の相関をみせたい場合等に使用できます。

観測パソコン画面構成



観測値が警報値を超えた時

＜警報発令時＞

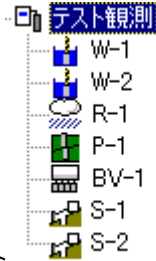


警報発令時は、「観測状況」画面が自動的に開き、警報発令した現場を点滅表示するとともに、警報ビープ音が鳴ります。最新観測値画面では該当する値が赤く表示されます。

また、別売オプションのUSB 接続出力ターミナル等を使用すると、警報発令時に事務所のパトライトを回す、なども可能です。詳細は当社営業までお問い合わせください。

観測時に警報が発令した時はビープ音が鳴り、「観測状況」画面が自動的に開いて、警報発令した現場を点滅表示します。

ツリー表示：
表示現場の機器をツリーで表示します。



ツリーで機器をクリック
(機器『NetCM-1』の場合)

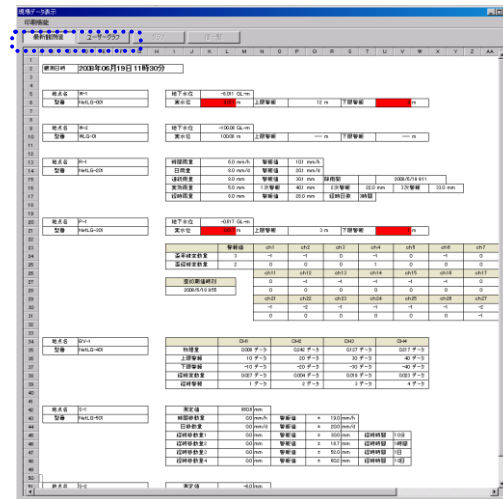
機器の「カメラ画像」画面



OSNET カメラの撮影画像を表示します。
機器『NetCM-1』専用の画面です。

ツリーで現場をクリック

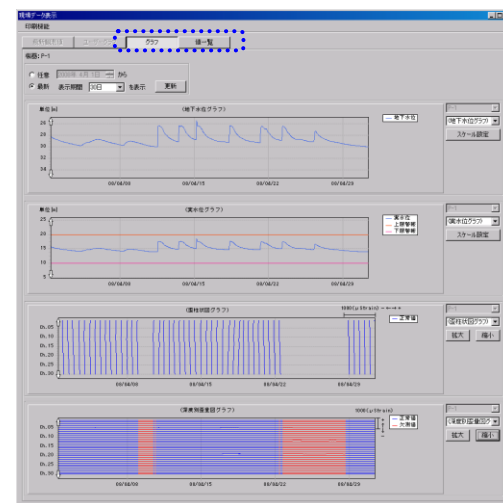
現場の「最新観測値」画面



現場に登録した全機器の最新観測値を表示します。
警報発令時にはその項目が赤く表示されるので
どこから警報がでているかすぐ分かります。

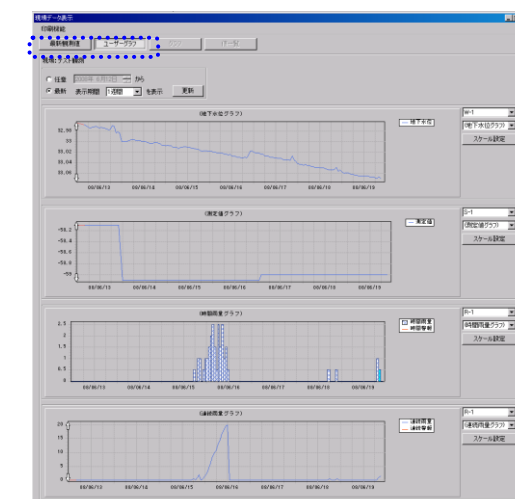
ツリーで機器をクリック
(機器『NetCM-1』
以外の場合)

機器の「グラフ」画面



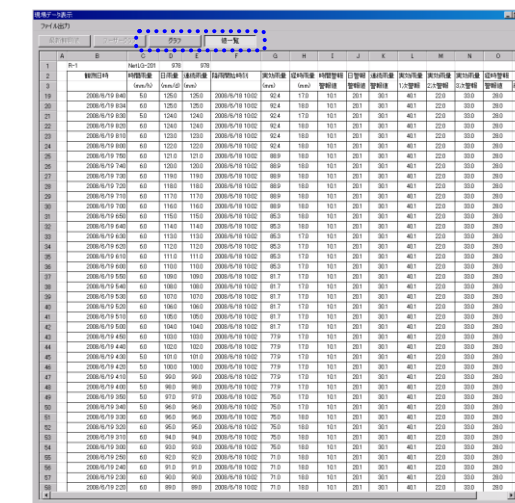
機器の観測データをグラフ表示します。
表示グラフは機種ごとに異なります。

「ユーザーグラフ」画面



複数の機器のグラフを同時に表示できる画面です。
水位・雨量・伸縮の相関をみたい場合等に使用できます。

機器の「値一覧」画面



取得している観測データを一覧表示します。
表示項目は機種ごとに異なります。

ユーザーグラフ
ボタンをクリック

最新観測値
ボタンをクリック

値一覧
ボタンをクリック

グラフ
ボタンをクリック

主な機能

観測機能

本ソフトウェアはOSNET ネットワークのデータ集録装置の記録データを、現場または遠隔地より設定した自動観測間隔で自動観測できます。また、任意観測ボタンを押すとその時の観測値を取得します。観測現場は最大 10 現場まで登録可能、データ集録装置は各現場に最大 50 機器まで登録可能です。自動観測間隔は 5 分・10 分・20 分・30 分・1 時間・2 時間・3 時間・6 時間・12 時間・1 日から選択できます。観測時には、集録装置から取得した「観測値」「警報設定値」を基に警報判定を行います。

※警報判定は観測時（観測間隔が 1 時間の場合は 1 時間毎）に行います。集録装置で発令する警報とは連動していません。

※観測にかかる時間は、PC の性能、通信手段、回線状態、無線機の使用、データ集録装置の数等により変動します。

グラフ表示機能

型番	表示グラフ
NetLG-001、WLG-01	実水位、地下水位
NetLG-201	時間雨量、日雨量、連続雨量、実効雨量、経時雨量
NetLG-301	実水位、地下水位、歪柱状図(ch30 から累積)、深度別歪量図
NetLG-401	物理量 (ch1~4)、経時変動量 (ch1~4)
NetLG-501	時間移動量、日移動量、総移動量、経時移動量 1~4
SLG-30	時間移動量、測定値
SLG-100	時間移動量、日移動量、総移動量、経時移動量
NetLG-102、NetLG-104	物理量、経時変動量 1~4
NetLG-401N	地下水位、実水位、標高水位、物理量、経時変動量、傾斜柱状図
NetLG-301N	地下水位、実水位、標高水位、ひずみ柱状図(最大 ch から累積)、深度別ひずみ量図
NetLG-001N、WLG-01N	地下水位、実水位、標高水位
NetBC-30L	傾斜角度、X 軸角度、Y 軸角度、経時変動量、温度、XY 軸角度
NetAW-01L	水位、標高水位、地下水位
Merex-D *1	計測距離、累積変位量、時間変位量、日変位量、週変位量、月変位量
Merex-C *1	累積角度、傾斜方位、極座標
Dr.Clip *2	X 軸角度、Y 軸角度
MG シリーズ *3	X 軸変位量、Y 軸変位量、H 軸変位量、水平合成変位量、全合成変位量、変位速度 1~8

*1 Merex シリーズは明治コンサルタント株式会社・株式会社レクザム製の共同開発製品です。

*2 パイプ傾斜計 Dr.Clip は明治コンサルタント株式会社・株式会社坂本電機製作所製の共同開発製品です。

*3 GNSS 変位計測システム MG シリーズは古野電気株式会社の製品です。

警報監視機能 ※OSNET OBSERVER は、集録装置に設定されている警報値を取得し、警報判定します。

型番	監視する警報値
NetLG-001、WLG-01	水位上限警報、水位下限警報
NetLG-201	時間雨量警報、日雨量警報、連続雨量警報、実効雨量 1 次警報、実効雨量 2 次警報、実効雨量 3 次警報、経時警報
NetLG-301	水位上限警報、水位下限警報、歪経時警報、歪累積警報
NetLG-401	物理量上限警報、物理量下限警報、経時警報
NetLG-501	時間移動量警報、日移動量警報、経時警報 1~4
SLG-30	時間移動量警報
SLG-100	時間移動量警報、日移動量警報、総移動量警報、経時警報
NetLG-102、NetLG-104	警報 1~4 (それぞれ上限警報、下限警報、経時警報のいずれか)
NetLG-401N	水位警報 1~4 (それぞれ上限警報、下限警報のいずれか) 物理量警報 1~4×最大 CH 数 (それぞれ上限警報、下限警報、経時警報のいずれか)
NetLG-301N	水位警報 1~4 (それぞれ上限警報、下限警報のいずれか) 警報 1~4 (それぞれ累積警報、経時警報のいずれか)
NetLG-001N、WLG-01N	水位警報 1~4 (それぞれ上限警報、下限警報のいずれか)
NetBC-30L	警報 1~4 (それぞれ累積警報、経時警報のいずれか)
NetAW-01L	警報 1~4×センサ数 (それぞれ上限警報、下限警報、標高水位上限警報、標高水位下限のいずれか)
Merex-D	累積変位警報、時間変位警報、日変位警報、週変位警報、月変位警報
Merex-C	累積角度警報、時間角度警報、日角度警報、週角度警報、月角度警報
MG シリーズ	X 軸変位量警報、Y 軸変位量警報、H 軸変位量警報、水平合成変位量警報、全合成変位量警報、X 軸変位速度警報、Y 軸変位速度警報、H 軸変位速度警報、水平合成変位速度警報、全合成変位速度警報

ホームページ公開機能

本ソフトウェアはホームページ公開機能を備えており、ホームページ設定を行うことでホームページを自動作成し、WEB サーバーへアップロードできます。また、自動観測・任意観測を行うたびに最新値ページ、各機器の最新グラフページ、および、各機器の値一覧 CSV ファイルを WEB サーバーへ自動アップロードしてホームページを更新します。したがって、どこからでもインターネットブラウザでホームページを開いて最新の現場状態を閲覧することが可能です。ホームページ公開機能を使用するためには、USB ライセンスキーが必要です。

外部ソフトとの連携

本ソフトウェアは集録装置の記録データを取得し保存しています。記録データは弊社製ソフトウェア「D-Station」で処理し、作図・作表を行うことができます。また、弊社製ソフトウェア「OSNET サポータ 2」を使用すると集録装置の設定・集録装置の全データ回収が行えます。メイン画面のメニュー「外部機能」から起動が可能です。

動作環境

コンピュータ本体

WindowsVista、Windows7、Windows2008ServerR1、Windows 2008 Server R2、Windows 2012 Server R2、Windows8、Windows8.1、Windows 10 Pro が正常に動作するコンピュータ。

※Windows8、Windows8.1 ではデスクトップ画面で動作するデスクトップアプリとして使用できます。

※Windows 10 Home は非推奨です。Windows 10 Pro 以上のエディションを推奨します。

ソフト

・NET Framework 2.0。ヘルプファイルの表示には Adobe Acrobat Reader が必要です。

メモリ

○最小メモリ容量：1.5GB 以上 ※現場数・機器構成が多いほど、必要メモリは多くなります。

○推奨メモリ容量：2GB 以上 ※必要メモリはシステム環境により異なる場合がありますためご注意ください。

ハードディスク

1G 以上の空き容量。

ディスプレイ

1024×768 ドット以上の解像度。

USB シリアル変換ケーブル (COM 通信で観測する場合)

パソコン本体にシリアルポートが内蔵されていない場合、モデムまたは NetGW-1 との接続には USB シリアル変換ケーブルをご使用ください。(推奨ケーブル：iBUFFALO 製「BSUSRC06」)

※ご使用のパソコンと USB シリアル変換ケーブルの組み合わせによっては正常に動作しない場合があります。

モデム (モデム通信で観測する場合)

公衆回線等を利用して通信する場合、モデムが必要です。(推奨モデム：I-O DATA 製「DFML-560ER」)

※すべてのモデムでの動作は保障していません。

メール環境 (メール通信で観測する場合)

OSNET パケット通信機「NetMAIL-1 / NetMAIL-2 / NetMAIL-N」または OSNET イーサネット通信機「NetICE-L1」を使ってメール観測をする場合、観測メールを受信するためにメール環境が必要です。本ソフトウェアでは以下の送受信プロトコルのメールサーバに対応しています。

- ・POP/SMTP (SSL にも対応)
- ・IMAP4/SMTP (SSL にも対応)
- ・HTTP

※HTTP 通信のご利用には HTTP 通信専用アカウント (利用料無料) の申込が必要ですので、ご希望の場合は、弊社営業までお問合せください。

WEB サーバーの必要要件 (ホームページ公開機能を使用する場合)

ホームページ公開機能を使用するためには、下記の要件を満たす WEB サーバーが必要です。サーバーを保有していない場合でも、レンタルサーバー等がご利用いただけます。

- ・独自 CGI (Perl) が使用可能であること
- ・WEB サーバーへ FTP アクセスが可能であること
- ・十分な空き容量があること

ホームページに必要な容量は、現場・機器の構成によって変わります。

例) データ量の少ない NetLG-001、SLG-30 などが 10 台の現場構成なら約 40MB

データ量の多い NetLG-301N または NetLG-401N が 10 台の現場構成なら約 100~400MB

ブラウザ環境 (ホームページ公開機能を使用する場合)

本ソフトウェアで作成したホームページの閲覧には、下記ブラウザを推奨します。

- ・Internet Explorer 6.0 以降、または Mozilla Firefox 3.0 以降